

# トハモニ

特集

めざそう男共共同参画！ ～子育て編～

## ひときらめき人シリーズ



『フィルム微助人活動報告集「さあ来い、ハリウッド！」を手にする金子恭子さん

### 日本初！ 女性が仕切るフィルムコミッション

『フィルム微助人』の代表 金子恭子さんにお話を伺いました。

金子さんは生まれ育った町、沼津に元気を呼び起こし、地域と人との繋がりを大切に、フィルムコミッションというボランティア活動を通じて沼津を全国に発信し続けています。

#### 金子恭子さん プロフィール

- ★沼津市に生まれる。自由の森学園高等学校（埼玉県）卒業。
- ★貿易会社、出版社での勤務を経て貿易会社「有限会社アパ・ジャパン」、飲食店「さかなや千本一」取締役就任。現在は、「K2ファクトリー」の代表を務める。
- ★「社団法人 沼津青年会議所」所属、働く女性の会「ATGネット」副代表、「TMO めまづ」企画運営委員として活動されている。

Q 『フィルム微助人』の具体的な活動状況は。

A フィルムコミッションの仕事（映画やドラマなどのロケーション撮影を地域に誘致し、制作全般の手助けをする）をサポートする活動（エキストラの募集、手配）や、イベントを開催し、地域内外の人的ネットワークを創る活動をしています。

Q 『フィルム微助人』を設立したきっかけは。

A （社）沼津青年会議所で地域活性化の方法を試行錯誤し模索するなかで、フィルムコミッションというものを知りました。そのころ、青年会議所のイベントで、沼津出身の原田真人映画監督にお会いし、また、氏のデビュー作であり、沼津の美しい風景が映っている監督の作品「さらば映画の友よ・インディアンサマー」に感動、氏と密接に交流する過程で、地域固有の財産を効果的に「まちおこし」に使うには、フィルムコミッションの活動が最適ではないかと思い、3年前に『めざせ沼津フィルムコミッション』を立ち上げました。3年の間に組織も改革し、また名称も『フィルム微助人』に変え、活動しています。平成16年6月に全国的にみても珍しい活動内容をもったNPO法人として静岡県に認証されました。

Q スタッフはどのような方々ですか。

A 全員女性です。現在27名のスタッフで活動しています。会員は、家庭や仕事の時間をやりくりして活動に参加しています。会員にとって活動は、今までにない自分発見ができ、潜在能力を生かすことはもとよ



スタッフの皆さん

り、スキルアップにも繋がっています。NPO 法人と言っても確たる収入がないので、係わる時間を時給に反映できないにもかかわらず、会員が活発に活動していただいているので、スタッフの皆には感謝しています。

Q やりがいが多い反面、ご苦労もたくさんあるかと思えますがいかがですか。

A 現在約1,000人のエキストラが登録されています。現場では、初めて会ったエキストラ同士に仲間意識が生まれるなど、県外、市外のエキストラの方も多くいるので、県東部、特に沼津のPRに繋がりますし、そのような交流がスタッフにとってやりがいになっています。また、関わった作品が、賞をとったり、良かったよと言われると、その言葉だけでもスタッフにとって大きな励みになります。逆に、制作者とエキストラとの調整や、手配のことでは苦労は耐えられません。ですが、エキストラまたスタッフの笑顔を見ると、苦労も忘れることができます。

Q 最後に男女共生についてはいかがですか。

A 子どもを安心して育てる環境づくりがまちづくりの一番でしょうね。子育てのための社会的支援のシステムが整備されれば女性ももっと活躍できるのではないかと思います。それと、この活動を通して、地域に誇りを持てるようになりました。住む町に関心をもち、自分からアクションをおこしてどんな活動にも積極的に参加することの重要性を学びました。忙しいなかで、女性同士助け合う心で活動を行っています。何が財産になるか、それは人と人との交流が取り持つ縁ではないかと思っています。「男女共同参画」というと、かしこまってしまいお堅いイメージしかありませんが、助け合い、認めあう心をもって交流する手段があれば、もっと身近なところで実現できるのではないのでしょうか？

# 地域で子育て支援

子育てを自分だけで抱え込んでいませんか。社会から疎遠になったなんて感じていませんか？  
そんなお母さんに強い味方、地域のボランティアの皆さんで子育て支援している**エンゼルサロン**は、  
毎日が子育てに追われているお母さんをリフレッシュさせてくれます。親も子も自由に過ごすことができる  
うれしい憩いの場です。

## 門池地区エンゼルサロン訪問

市内のあちらこちらから子どもさんを連れて参加するお母さん方も多いそうです。  
場所は、城北高校の合宿所。城北高校のお兄さん、お姉さんも一緒に。

### 子どもって千差万別

城北高校のホームページを見て参加しました。子育てに心配なこともあったのですが、ここで会う人達とお話をしているうちに、子どもって千差万別なんだなあって思えるようになりました。子どもも、ここに来るのを楽しみにしています。  
お母さん

### ほっと一息

ボランティアの皆さんのおかげで、安心して、他のお母さんたちとゆっくりお話ができます。  
お母さん

### 子ども大好き

この時間、楽しいです。将来は、教師になろうと思っています。エプロン恥ずかしいかって？全然恥ずかしくないです！  
高3 男子

### 心が和む

参加したきっかけは、授業。将来は保育士になりたい。最初は赤ちゃんの抱き方がわからず、泣いちゃった時は、どうしていいかわからなかった。今は大分慣れたし、楽しい！将来、子どもをもっても上手く育てられそうな気がします。  
高3 女子

### 自分のためです

いつも参加しています。老人ホームにもボランティアで行っています。お年寄りには知恵をもらい、若い人からはエネルギーをもらえる気がします。  
ボランティアさん



この日、クリスマス会に53組の親子が集まっていました。地区社会福祉協議会の方のサンタさんにみんな大喜び。

将来、保育士を目指す生徒（男女）が、より実感できる場としてこのエンゼルサロンを始めました。

生徒自身が悩みごとを抱えていても、赤ちゃんと接したり、お母さん方と話したり、自分のおじいちゃん、おばあちゃんの年齢のボランティアの方々と話をすることで、心がなごむ、優しい気持ちになれると生徒達は言っています。保育士、教師になるための実習もさることながら、予想以上の効果が出ています。

城北高校 高木先生

ボランティアの方々には、寿サロン、エンゼルサロンなど、自分がやれそうなボランティア活動に登録して参加しています。

城北高校の高木先生が、授業の一環として、若いお母さんと生徒達の交流を目的に始めたのがきっかけです。お母さんも子どもさんもとても楽しそうです。お母さん同士の交流、ボランティアの方々との異世代間交流の中から、憩い、喜び、生活の知恵を感じて欲しいと思っています。  
主任児童委員の光林さん

## 直接会場に どうぞ

### 市内エンゼルサロンの紹介

★城北高校	……… 毎週水・金曜日（月3・4回程度）	問合せ	光林さん	☎921-3599
★大諏訪集会所	……… 毎月第3金曜日	//	田村さん	☎951-2236
★金岡地区センター	……… 毎月第1・3火曜日	//	西川さん	☎922-2279
★原地区センター	……… 毎月第2・4木曜日	//	名古さん	☎967-7718

時間 いずれも9時30分～11時30分

対象 幼稚園、保育園入園前の子どもとその保護者

# 特集 めざそう男女共同参画！ ～子育て編～

女性も男性も、家庭生活と仕事や地域での活動を両立させ、安心して子育てができる社会の実現に向け、従来の「子育ては母親（女性）の仕事」という役割分担意識の是正や多様なライフスタイルに対応した子育て支援策の充実が求められています。

## お父さん！子育てはお母さんだけの役割なの？

昔から「子育ては母親の仕事」という役割分担が日本では当たり前のように言われてきましたが、子どもはみんなで育てるものです。親となった喜びは子どもと触れ合うことで気づくものです。

お父さんも子どもと一緒に毎日の生活を楽しんでみませんか。

パパとママの教室（沼津市保健センター開催）に参加のパパ。お風呂も、おむつも準備万端！



パパの妊婦体験



赤ちゃんのお風呂の入れ方をママと一緒に勉強します。

## 子育て中の男女への支援

少子化の進展に対応し、現在、沼津市では社会全体で子育てを支援するため、様々な子育て支援をしています。その一例をご紹介します。

### 子育て支援施設

核家族、ひとり親家庭の増加などによって、子育ての悩みをひとりで抱えてしまうケースが多くみられるようになりました。このような状況を解決するため、いろいろな施策が展開されています。親子あそび、一時預かり保育、高齢者との交流などを実施しています。（施設により内容が異なります。）

お父さん、お母さんだけでなく、お孫さんを預かっているおじいちゃん、おばあちゃんも気軽に子どもと一緒に参加できます。上手に活用して、子育てを有意義なものにしましょう。

#### 市内にある子育て支援センターとふれあいプラザ



沼津っ子ふれあいセンター「ぼっぼ」

名称	住所	電話
沼津っ子ふれあいセンター ふれあいプラザ・ぼっぼ	大手町1-1-3	952-8077
かいほく子育て支援センター ふれあいプラザ・らっこ	高沢町17-1 (開北小学校内)	920-7001
子育てサポートキャラバン 「ぴよぴよ」	同上	同上
子育て支援センター 「かるがも」	今沢680-4 (片浜保育園内)	967-9977
子育て支援センター 「にこにこ広場」	吉田町4-10 (恵愛保育園内)	935-1234
ふれあいプラザ・こあら	東原76-1 (今沢小学校内)	968-6633



かいほく子育て支援センター「らっこ」



ぴよぴよ号発車！

### ファミリーサポートセンター

（沼津っ子ふれあいセンター内）

仕事と育児の両立や子育て支援のために、育児の援助を行いたい人（まかせて会員）と、援助を受けたい人（おねがい会員）、どちらも活用したい人（どっちも会員）とが会員となり、お互いに助け合う会員組織です。

平成12年10月から活動を開始し、現在では465人が登録しています。

（H16.12.1現在）

### 放課後児童クラブ

働く女性や、核家族が増えているなかで、共働き家庭、母子、父子家庭などでは、小学生の子どもたちは、放課後や学校の長期休業期間中には、親が仕事をしているために子どもだけで過ごすこととなります。このような子どもたちの毎日の放課後の生活を守る放課後児童クラブの充実がますます求められています。

#### 沼津市放課後児童クラブの設置状況

平成16年12月1日現在

設置クラブ数	参加児童数	職員数	設置率
17クラブ	596人	34人	68%

設置率：設置クラブ数／小学校数（25校）



第五放課後児童クラブ「どんぐりクラブ」



片浜放課後児童クラブ「つばめクラブ」

★保育所では乳幼児ショートステイ（一時保育）、病後児保育など様々なライフスタイルに合わせた子育て支援の充実を図っています。お問合せは沼津市役所福祉事務所 子育て支援課 TEL 934-4826

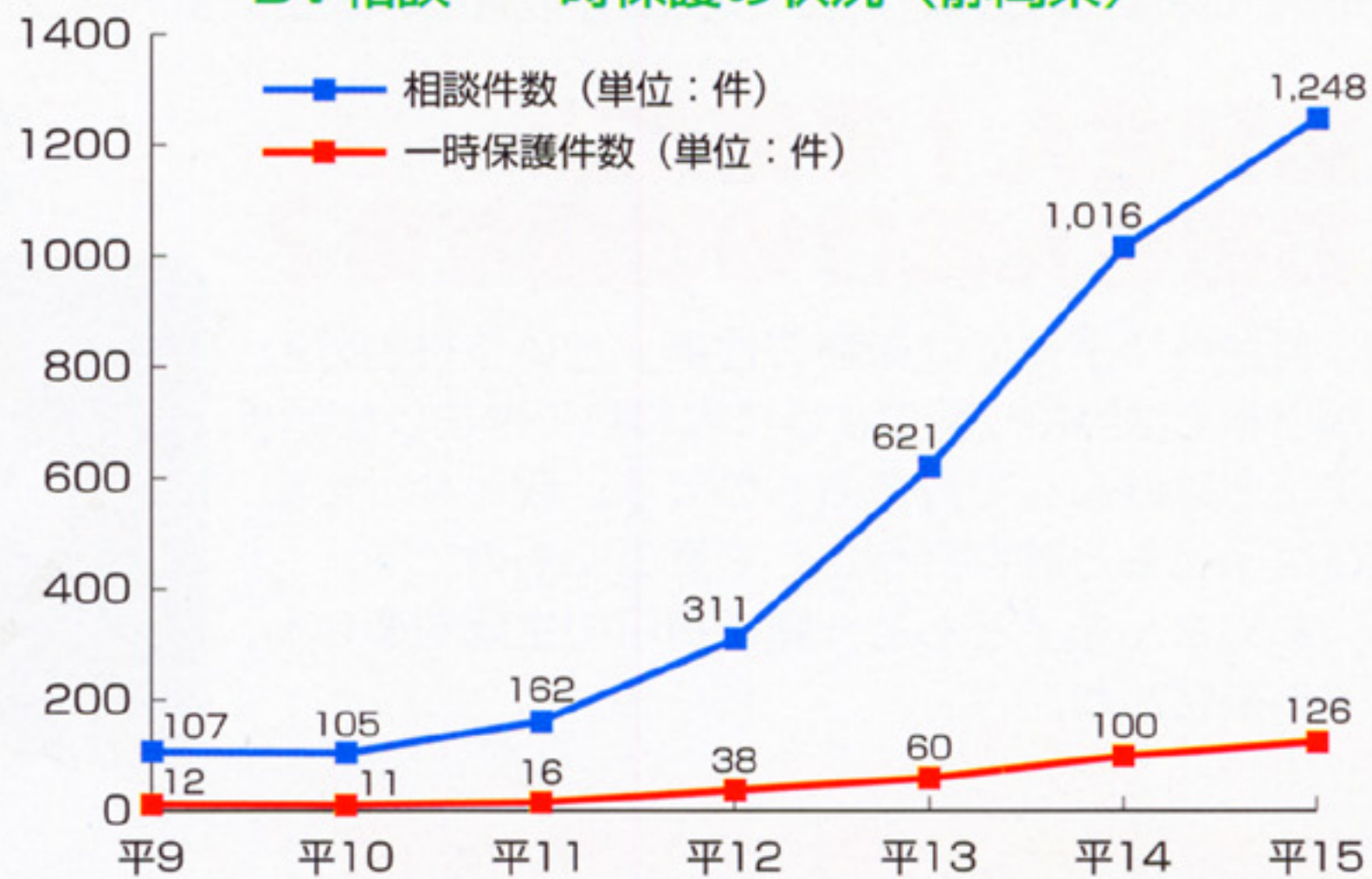
# 配偶者暴力防止法が改正されました

現行のDV防止法（配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律：平成13年10月施行）が施行3年目を迎え、保護命令の対象を、子供や離婚した元配偶者まで拡大するとともに、退去命令の期間を2か月に延長することなどを柱とした改正法が成立し、平成16年12月2日から施行されました。

## 改正の主な内容

- 1 「配偶者からの暴力」の定義の拡大
- 2 保護命令制度の拡充
  - ①離婚後も暴力が続く場合、元配偶者も対象とする。
  - ②被害者と同居する未成年の子どもも接近禁止命令の対象とする。
  - ③退去命令の期間を2か月に拡大。
  - ④退去命令についても再度の申立てを可能とする。
- 3 市町村による配偶者暴力相談支援センターの業務の実施が可能
- 4 基本方針及び基本計画の策定
- 5 被害者の自立支援の明確化等
- 6 警察本部長等の援助
- 7 苦情の適切かつ迅速な処理
- 8 国籍、障害の有無等を問わない人権の尊重

## DV相談・一時保護の状況（静岡県）



【資料出所：静岡県相談センター】

静岡県内のDV（ドメスティック・バイオレンス）による被害者の一時保護件数は、平成11年度急増し、平成14年度からは100件を超えています。

# 平成16年度講演会・出前講座レポート

**男女共同参画推進講演会** 市立図書館視聴覚ホール 平成16年11月13日（土）

演題 「変わる勇氣、変える勇氣～女と男とのもっといい関係～」

講師 人材育成コンサルタント 辛 淑玉さん



1970年当時、男性が家事労働に就くのは1日平均26分。1世代後においても、男は外で働き、女は育児という関係性、生活スタイルは変わっていないと指摘。それは、男性は「負けるな」「泣くな」「やりかえせ」と競争原理の中で育てられたことが大きく関わっている。男らしさ、女らしさというような“らしさ”はレッテルという枠にはめ込むことであり、人が決めるもの。自分らしさは自分で決めるものと強調された。互いに異なる環境の中で育ち、考え方も違う二人で結ばれた夫婦が、いい関係を築くには「言葉にすることが大切」と語られた。

### 参加者の声

- ★「自分らしさは自分で選択すること」これからの自分に生かしていきたい。(30歳代・女性)
- ★非常に大事なことを学んだ。男と女が共生していくためには、多分に男の意識改革が必要かと思う。(60歳代・男性)



情報紙編集スタッフ全員で行ったドメスティック・バイオレンスをテーマにした紙芝居と朗読「サルカニ・バイオレンス」のアトラクションも大好評でした。

**地域出前講座** 11月8日（月）大平地区を皮切りに11月27日（土）今沢地区で開催されました。



演題 「4つの縁 今と未来」

講師 茨城大学助教授 長谷川幸介さん

### 4つの縁

自分が職を退いたときに血縁、地縁、職縁、友縁がどれだけあるかが大切。職に就いている時はちやほやされてそこそこ縁があるように感じているが、職を退いたときに無縁になることが多い。職に就いているときにどれだけ、職以外の縁とつきあうかが大切。

男女共同参画は自分の人生を豊かにするために行う。そして、子や孫の世代の家族のあり方をどうしたいのかが問われている、と語られた。

11月27日 今沢集会所にて

- ★あなたもハーモニーに参加してみませんか。
- ★ご意見・ご感想・イラストをぜひお寄せください。

沼津市男女共生情報紙第9号 **ハーモニー**（平成17年2月発行）

編集委員：伊藤裕子 小野寺美佐子 坂田圭代 嶋野満子 成田るり子 根上茂美 松本徳子

発行：沼津市企画部政策企画課男女共生推進室 〒410-8601 沼津市御幸町16番1号 TEL 055(934)4705 FAX 055(934)5011

E-mail kikaku@city.numazu.shizuoka.jp